

# Ai愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7  
労働会館東館3F  
TEL 052-871-5433  
FAX 052-871-5618  
URL http://www.aioren.gr.jp

258 2015年1月号  
発行人 吉良 多喜夫

愛労連・春闘共闘新春大宣伝

■名古屋駅前宣伝  
とき 1月6日(火)8時~9時  
ところ JR「名古屋」駅・ミッドランドスクエア前  
■刈谷駅前宣伝  
とき 1月12日(月・祝)7時半~8時半  
ところ JR・名鉄「刈谷」駅前

## 秋の組織拡大月間 仲間が続々と 労働組合で生活も子どもたちも宝も守る

自治労連自治体一般徳川美術館分会が9月29日、結成大会を開催しました。

**労働相談から分会結成**

職員への理不尽な退職勧奨や賃金体系の不利益変更への懸念、労働者の意見を聞かないという態度に若い職員にも怒りが広がり、黙って従うわけにはいかないという声が上がりました。愛労連の労働相談センターを通じて自治労連へ。分会長の原史彦さんは、「組合として要求することで初めてきちんに対応された。これまで都合の悪いことは説明する義務はないという態度だったのが変わったところが凄いと感じました」と改めて組合の力を実感。

「生活環境を守って欲しい。私たちは財団とケンカするつもりはないんです。けれど、間違っていることは間違っていると言いたい。コミュニケーションがないことが問題なんです」と原さん。組合があることで混乱させているのではという声も一部あります。が、「労働者の権利として、まずは世間並みの労働環境にしたい」との思いです。

歴代が守ってきたものを守り続けたい

徳川家康の遺品など国宝や重要文化財を多数抱える徳川美術館。しかし、「儲からなければ切り捨てるという理念になりつつある」と原さんは昨今の状況を懸念しています。

### 自治労連

#### 世間並みの労働環境へ 徳川美術館分会



美術館前で役員の皆さん

「経営だけでなく文化も守る理念を捨てないで欲しい。文化施設はこの考えを両輪として、よりよい方向を模索することが必要ではないでしょうか。経営効率のみの評価制度には文化の普及や文化施設としての社会的役割に関する評価はないです。組合の力も使い、400年もの間、歴代が守ってきたものを守り続けたのです」と思いを語ってくれました。



結成大会で団結ガンバロウ



全労働愛知支部刈谷職安分会長 柴田秀幸さん

### 愛知公国

#### 求職者によりよい支援を 非常勤職員の半数が加入

刈谷職安分会では、職場をよりにくくするために「仲間として一緒にがんばっていく必要がある」と分会で相談し、11月に非常勤職員向けの労働組合説明会を開催しました。組合



名南支部支部長とめぐみ保育園の仲間

と共済の魅力を短時間で紹介すると、「組合加入で不利益はないか」という率直な質問から「自分たちが入れる組合があるとは知らなかった」などの感想もありました。その後、12月初旬までに半数を超える非常勤職員が加入用紙を提出しています。

加入を決めた男性は、「非常勤では雇用が不安定で、人間関係が希薄になりがちです。1人でも多くの仲間とまとまっていくという意識でプラスになります。今の時代、組合の連帯感は大変です。少しでも気持ちよく働ける環境づくりができれば」と笑顔。別の女性は「求職者によりよい支援をするためにも職員同士の協力関係が大事だと思います。更新前の時期には不安な思いを抱えます。情報を供給し合っていきたいです」と話しました。

今後は、特別組合員同士の顔合わせの場として交流の場をつくり、つながりを深めていく予定です。

### 福祉 保育労

#### いきいきと保育実践したい めぐみ保育園分会

福保労では、原則的な要求活動と地道でいねいな声かけが実り、この間、正規の仲間などが増えていきます。現勢は985人。1000人達成まであと15人にまで迫っています。

新しい分会もできました。緑区めぐみ保育園では、園長のやりたい保育だけを押しつけられ、モラルハラスメントに耐えられずに毎年10人近い職員が退職。「何とかしたい」と相談されたことがきっかけでした。福保労本部と名南支部が職員に状況を聞き、ほとんどが「ここが初めての職場」という1~2年目。職

員集団で保育内容を討議し、作りあげていく喜びも感じられずに働いていました。その後、「自分たちはどうしたいのか」と話し合いを重ね、「理事会上で職場実態を知ってもらい、話し合い、職場づくりをしていきたい。いきいきと保育実践がしたい。長く働き続けたい」とまとまりました。

声を上げてむしる攻撃が増えるのではないかという心配も出されましたが、労働組合の持つ力に確信を持って「楽しく保育ができる職場にしよう！子どもたちのためにも声を上げよう！」と結成にいたり、15人が加入しました。

分会では「組合結成通知書」と不払い残業代の支給なども求める項目を入れた「団体交渉申し入れ書」を提出。交渉を通じ、改善に向けて努力していきます。

組合や共済をもっと早く知れたかった

「この職場は長く勤めている方が多く、もともと知りたかったという方もいました。組合を通じ情報を得たいという思いを感じました」と柴田秀幸分会長は話します。さっそく特別組合員(非常勤の方)向けに機関紙などの回覧を始め

### こらむ

毎月の給料明細を見るたびに気は重くなる▼所得税と住民税で10%を大きく越え、厚生年金の掛け金や健康保険などの社会保険料を加えると30%に迫る状況だ。ちなみに、同じ職場の30歳前後の若者に聞いてみると、税と社会保険料の合計は22%ほどだそう。老いも若きも非常に重い負担だ▼しかも、これに加えて消費税が8%、そして10%になるのが目下だ。私たち労働者は基本的に、「労働力」を売って得る賃金収入のみ、日々の生活をしていかなければならない。政治の流れを変え、消費税の引き上げは断固やめさせなければならぬ。同時に大幅な賃上げを勝ち取ることが生活向上に不可欠だ▼15春闘が始まっている。春闘相場に影響力を持つ「連合」加盟の民間有力単産では、いわゆるベースアップ要求案の根拠から、消費税の影響分を差し引いた案を設定した。この要求案に対して、参加組合から「消費税分を差し引くのは会社側に気を遣ったためなのか?これでは満額勝ち取っても生活維持できない」などと批判の声が上がっていると聞く▼組合員・労働者の生活実態に基づく要求討議とそれにふさわしい要求の確立とたたかいて求められている。(I)





# 政府の介護保険改悪で 利用者も自治体も不安だらけ

## 保険料は7割の自治体で値上げに

介護・認知症なんでも電話相談  
1-815152  
11月11日(火)  
午前10時～午後5時  
県社会保険推進協議会



電話をうける小松たみこさん

11月11日介護の日、愛知社保協は、電話による「介護・認知症なんでも相談」を実施しました。この相談は全国規模で行われ、愛知民医連の病院に勤務するケースワーカーや愛知ケアマネの会のメンバー、「認知症の人と家族の会」愛知支部の相談員など17人が相談に対応しました。

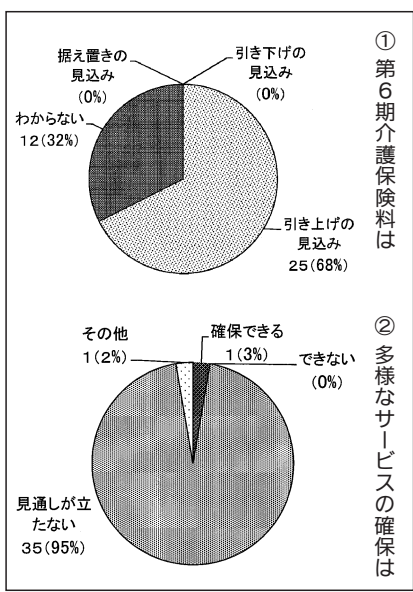
午後5時までの相談件数は43件で、一本あたりの相談時間が長く、繋がらなかったものを含めると、愛知で97本、全国で3000本のコールがありました。

40代から50代の相談が多く、「遠方でひとり暮らししている軽い認知症のある77歳の父のこと」「夫の介護疲れで『死にたい』という母親の精神的なケアについて」「認知症と診断された母(要介護3)がなかなかデイサービスに行ってくれない。どう誘えばいいか」など、いずれもお年寄りを抱える家族にとって切実なものでした。

高齢化が進むことで、介護に対するニーズはいつそ高まっていくにもかかわらず、政府は背を向けています。今年の通常国会で強行した「医療・介護総合法」によって、要支援1・2のお年寄りの生活支援や通所介護サービスは「新総合事業」として自治体に丸投げされました。

さらに、特別養護老人ホームへの入所は原則要介護3以上とするなど、必要なサービスが受けられなくなるのではと不安がひろがっています。

高年齢化が進むことで、介護に対するニーズはいつそ高まっていくにもかかわらず、政府は背を向けています。今年の通常国会で強行した「医療・介護総合法」によって、要支援1・2のお年寄りの生活支援や通所介護サービスは「新総合事業」として自治体に丸投げされました。



# おまほす

NO.97 一宮労連

## 地域密着の地域労連を

地域労連との出会いは、人とのつながりだった、というのは一宮地区労連・新事務局長の後藤陽司さんです。

として地域労連を運営することになりましたが、「地域労連は危機的な状況」という事態を目の当たりにしました。

よく「行事主義に陥っている」といいますが、われわれが、地域総行動などの各行事をしっかりと取り組むことから、地域

労連の再建は始まると後藤さんは言います。一宮労連として、最質の取り組みでは市議会に対して申し入れをするなど、精力的な取り組みをしてきました。ひとつの地域労連では活動が立ちゆかなくなってきたり、何かしら頭張れば、他の地域労連にも刺激を与え、よい相乗効果が得られるのでは、と考えています。

後藤さんは今後について、昨今の情勢をめぐり、ブラック企業対策やパワハラ・セクハラ問題、そして公契約条例のとりくみなど多岐にわたって地域労連としての役割を模索しようとしています。

運営の人手は少なく、苦勞も多いと話しますが、「地域労連として地域密着をめざし、中立組合や民主団体などに働きかけ、人を集めてより地域労連をアピールしていきたい」と志高く語ってくれました。(〇)

1年前に声をかけられ地域労連の会議に参加したのが始まりでした。その後、引き受け手がないなどの事情があり、役員



後藤 陽司 さん  
一宮地区労連  
(地域労組きずな)

1年前に声をかけられ地域労連の会議に参加したのが始まりでした。その後、引き受け手がないなどの事情があり、役員

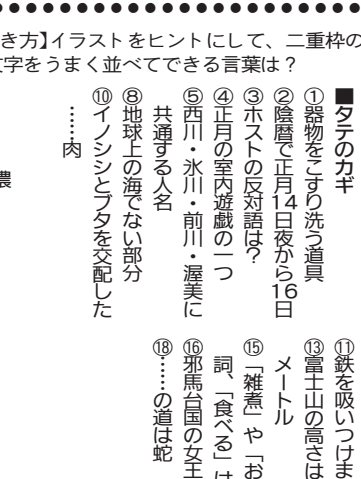
1年前に声をかけられ地域労連の会議に参加したのが始まりでした。その後、引き受け手がないなどの事情があり、役員

1年前に声をかけられ地域労連の会議に参加したのが始まりでした。その後、引き受け手がないなどの事情があり、役員

1年前に声をかけられ地域労連の会議に参加したのが始まりでした。その後、引き受け手がないなどの事情があり、役員

## クロスワードパズル

- 【解き方】イラストをヒントにして、二重枠の6文字をうまく並べてできる言葉は？
- ヨコのカギ
    - 1 正月の野外遊戯の一つ
    - 4 海老蔵や猿之助や玉三郎が演じます
    - 6 無形文化遺産に登録の石州半紙・本美濃紙・細川紙
    - 7 ……満点のジェットコースター
    - 9 法隆寺を創建した人
    - 11 ……像。 ……自費
    - 12 会社で配下の人
    - 14 これが高いと乾きが遅い
    - 16 おでこも言います
    - 17 その土地の守り神さま
    - 19 客を乗せていないタクシー
    - 20 猫はここで丸くなる？
  - タテのカギ
    - 1 器物をすり洗う道具
    - 2 陰暦で正月14日夜から16日
    - 3 ホストの反対語は？
    - 4 正月の室内遊戯の一つ
    - 5 西川・氷川・前川・渥美に共通する人名
    - 8 地球上の海でない部分
    - 10 イノシシとフタを交配した…肉
    - 11 鉄を吸いこみます
    - 13 富士山の高さは…3776メートル
    - 15 「雑煮や」おせち」は各詞、「食へる」は？
    - 16 邪馬台国の女王
    - 18 ……の道は蛇



【前号のクイズの答え】前号257号(12月号)のクロスワードパズルの答えは「トシノイチ(歳の市)」でした。正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをお送りします。

## みんなの声

店頭での商品が税抜きで表示され、レジに行くとき8%の大きさがヒシヒシと感じられるようになりました。(古屋直樹・コープあいち)

■モーニングに掲載されている「会長 島耕作」で「集団的自衛権」の特集がされていた。経団連的・グローバル企業目線で描かれ、「集団」に賛成の立場であり閉口した。国民や隣国の感情、人間の尊厳、権利という観点はまったく抜け、権力者の立場からの視点

■知多労連 議長 菊地政彦/副議長 山本より子/事務局長 熊谷弘/事務局長 岡田康

執行委員長 及川均/書記 長 今木洋治